



2025年6月6日

日本鉄道労働組合連合会

～JR連合「東海地協」民主化に向けた取り組みを展開～ 指令員と貨物運転士・駅係員との意見交換会を開催！



挨拶する石原慎太郎東海地協事務局長

J R 連合東海地方協議会は5月13日および5月23日、JR東海ユニオンにおいて静岡指令・東海指令の業務に従事する役員・組合員と、貨物鉄産労で乗務や駅業務に従事する役員・組合員との意見交換会を開催した。

J R 連合からも政所大祐

事務局長や宮野勇馬企画局長、相良夏樹組織局長が参画した。本意見交換会は13日に静岡地区、23日に名古屋地区で開催され、合わせて約50名が参画する取り組みとなった。

通算で3回目となる今回は、事前に貨物鉄産労側でディスカッションを行うテーマを「大幅遅延・長時間抑止時の運転士の休養確保と駅作業の負担軽減」と定め、ネックとなっていることの共有や改善に向けての意見交換等を行った。今回も、異常時の際にJR貨物運転士がどういう状況に置かれるか、JR東海の指令員はどういう観点で運転整理を行っているか等の共有がなされ、相互理解の向上に繋がった。また今後、こうした知見を得て、具体的な改善にJR貨物労使間で取り組むことが求められる旨の意見も出された。



新入社員に対するアピール行動(5/9)を実施！

東海地方協議会はこれに先立つ5月9日、貨物鉄産労とともに、東海支社配属の新入社員に対し、「貨物鉄産労」という組織や活動を知ってもらうべく、紹介チラシ（写真右）を配布する等の取り組みを名古屋市内で行った。



J R 連合は、こうした活動を好事例として水平展開し、各地方協議会が民主化当該単組と連携を強化し、他労組組合員らに J R 連合運動の輪を広げ、総結集を図ることに取り組んでいく。